

住友理工、Japan Mobility Show Bizweek 2024 に出展

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、10月15日（火）～18日（金）に幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催される「Japan Mobility Show Bizweek 2024」に出展します。



「Japan Mobility Show Bizweek 2024」は、一般社団法人 日本自動車部品工業会が主催する展示会で、モビリティ関連企業とスタートアップによる共創を生み出すビジネスイベントです。当社グループは本展示会にて、EVに関する製品として「バッテリー冷却プレート：クールフィットプレート」「内部熱交換器：IHX」「BEV 冷却配管用樹脂チューブ」のご紹介を予定しています。

<開催概要>

展示会名	Japan Mobility Show Bizweek 2024
会期	10月15日（火）～18日（金）
会場	幕張メッセ
ブース No.	A-12
URL	https://www.japan-mobility-show.com/

<展示品紹介>

>> バッテリー冷却プレート：クールフィットプレート™

バッテリーを冷却する製品で、バッテリーの底面（流路の上側）を効率良く冷却でき、さらにバッテリーの温度均一化を図ることができます。並列流路内に突起を有していることが特長で、この突起により渦を発生させ、流体境界層を攪拌させることで、効率的な冷却性能を発揮します。また、突起を最適な箇所に配置することで、任意の箇所の冷却効率を向上させ、バッテリーの部位別温度差を縮小することにより、バッテリー寿命の延長に貢献します。



ローア（下側）プレート

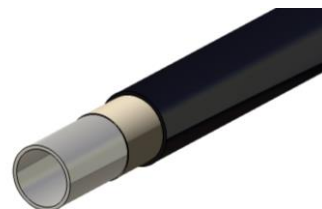
>> 内部熱交換器：IHX（Internal Heat Exchanger）

エアコンシステムの冷却効率を向上させる内部熱交換器で、独自のスパイラル形状により、高い熱交換性を実現しています。低圧配管（内管）のスパイラル形状に対し、ストレート形状を追加したことで、境界層を攪拌する流れを生成することができ、効率的な熱交換性能を発揮します。当社の現行量産品に対し、熱交換性能を30%向上でき、電費改善に貢献します。



>> BEV 冷却配管用樹脂チューブ

BEV（電気自動車）用の冷却樹脂配管で、ICE（内燃機関）用チューブに対し耐熱など使用環境緩和を考慮して、ポリプロピレンを最内層に使用することにより、樹脂チューブの低コスト化を実現しました。従来の圧入締結に対し、レーザー溶着による締結構造を採用することで、部品点数の削減や圧損の低減にも貢献します。



以 上

—— 住友理工について ——

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の製造音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部／〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>